

機能強化計画のポイント

1. 基本方針

(1) 基本的な考え方

当行では、平成12年4月から長期経営計画に取組み3年が経過していましたが、本年3月にリレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラムが発表される等金融情勢の大幅な変化等により新たに新中期経営計画を平成15年4月からスタートさせました。期間は平成17年3月までの2年間で、機能強化計画の期間と一致させております。この中期経営計画では、9つの重点課題を掲げておりますが、これらの重点課題は、アクションプログラムの主旨を踏まえ策定しておりますので、個別項目を網羅しており、この中期経営計画を遂行することがアクションプログラムを推進することとなります。

(2) 目指す経営の姿

集中改善期間の間に、統合収益管理態勢の構築・整備と人材の育成により、お客様へ高付加価値を提供できる問題解決型のビジネスモデルへの脱皮を目指します。それは、地域の要となり、継続的に資金提供を成し得る高い収益力を確立するとともに、株主の皆様やお取引先の皆様、地域社会、従業員等の満足度を向上させることであり、当行の経営理念であり、中期経営計画に掲げた銀行像「お客様から親しまれ信頼される地域のベストバンク」に繋がるものと確信しております。

2. 中小企業金融の再生に向けた取組み

(1) 創業・新事業支援機能等の強化

融資審査態勢を強化するために、平成15年6月より主要7業種について業種別担当制を実施した他、今後新たに「総合融資支援システム」の開発を通じ、お取引先企業の創業・新事業起業に向けてスムーズに資金提供ができる態勢をより一層強化します。

第二地方銀行協会主催の各種研修に人員を派遣する他、上級者向け融資審査能力開発研修を実施するとともに、ファイナンシャルプランナーや中小企業診断士などの資格取得を奨励する等人材の育成を図ります。

「産業クラスターサポート金融会議」には、幹事として参加しておりますが、今後は、政府系金融機関を始めとする外部機関との連携も強めてまいります。

(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能強化

「 B A N K ビジネスクラブ」を中心に経営情報やビジネスマッチング情報を提供する体制を構築しておりますが、情報提供機能を今後もより一層強化してまいります。

第二地方銀行協会主催の各種研修に人員を派遣する他、上級者向け融資審査能力開発研修を実施するとともに、ファイナンシャルプランナーや中小企業診断士などの資格取得を奨励する等人材の育成を図ります。

(3) 早期事業再生に向けた積極的取組み

平成 1 4 年 6 月に設置した「企業経営相談室」に中小企業診断士等の有資格者を配置し、早期事業再生に関する取組みを積極的に行ってまいりました。今後につきましては、新しいスキームの活用を検討するとともに、外部機関との連携を強化してまいります。

(4) 新しい中小企業金融への取組みの強化

融資審査にあたっては、企業体力やキャッシュフローを重視する審査への移行に取組み、平成 1 5 年 5 月には、中小企業向けのキャッシュフローを重視した無担保・無保証人の融資商品である「 B A N K ビジネスローン」の取扱を開始した他、融資権限の見直しや「 T K C 戦略経営者ローン」を平成 1 5 年 8 月に取扱を開始しました。今後につきましても、新たな融資形態の開発・導入を検討するとともに信用リスクデータベースの整備・充実を図り、中小企業金融への取組みを強化してまいります。

(5) お客様への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化

お客様と契約を締結するに際しては、契約内容を十分に説明し理解をいただくから契約するように徹底しておりますが、「事務ガイドライン」の改定の主旨を踏まえ、お客様への説明態勢の整備に向けて一層の取組強化を継続してまいります。

お客様からの相談・苦情につきましては、総務部お客様相談室において一元的に受け付ける態勢となっております。今後につきましては、行員の研修等をより一層充実させ、お客様重視の業務運営を経営の基本方針として対応してまいります。

(6) 進捗状況の公表

機能強化計画の進捗状況について、半期毎の決算発表を目処に、インターネットのホームページやディスクロージャー誌等により公表します。

3. 金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み

(1) 資産査定、信用リスク管理の厳格化

適切な自己査定や償却・引当を実施すべく各種研修を実施するとともに、担保評価の合理性を確保するための各種施策を実施してきました。今後につきましても、自己査定及び償却・引当態勢の高度化を継続してまいります。

(2) 収益管理体制の整備と収益力の向上

収益管理システムにより、収益構造を分析する等収益構造を再構築します。信用リスクデータベースの整備を図るべく、信用格付の取組みを開始しデータの整備・蓄積を進めてきました。今後は、導入予定の総合融資支援システムや収益管理システムを活用し、信用リスクデータに基づく金利の実現を図ってまいります。

(3) 地域貢献に関する情報開示等

地域貢献に関する成果について、お客様に十分理解されるよう「地域への信用供与」、「地域振興への貢献」、「地域サービスの充実」等の情報を拡充し、平成15年7月「京葉銀行レポート2003」を発刊しました。今後も、より良いディスクロージャーを行うべく対応を継続してまいります。

以 上